

平成28年度水道事業決算の概要

地方公営企業である水道事業の経理は、水道水を供給するための経費と財源を表す「収益的収支」と、水道施設の建設・改良や企業債の元金返済に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに区分し、複式簿記により行っています。

「収益的収支」では、前年度と比較して、収益が給水量の減少に伴う水道料金収入の減等により7,196万円減少したことから、費用が収益を上回り、純損失が約4,614万円となりました。

「資本的収支」では、建設改良費が、前年度比較で9,783万円減少し、支出全体では14億1,073万円となりました。

主要事業としては、九谷ダム湖から取り入れている水に、藻類が発生したことが原因で起こる水道水の異臭味への対策として、平成27年度から建設を行っていた活性炭注入施設が完成しました。

1. 収益的収支（税抜）

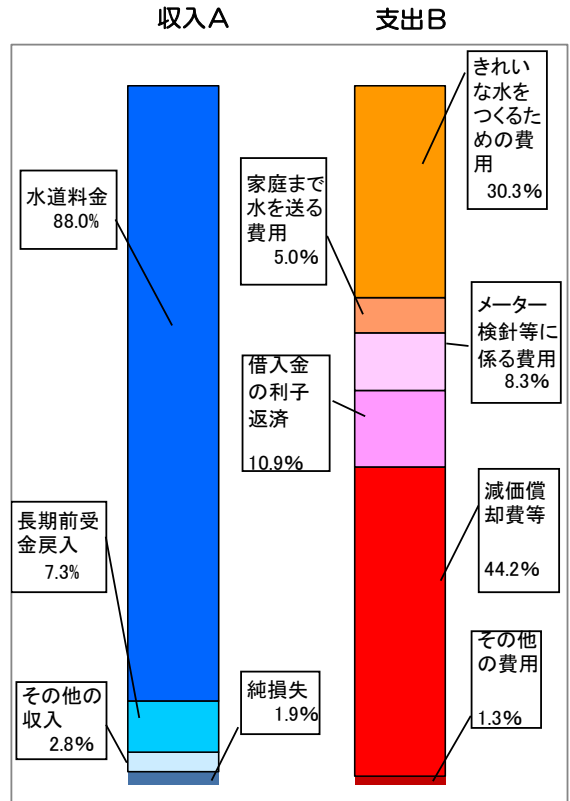
(1) 収益的収入（税抜）

区分	決算額
水道料金【給水収益】	21億476万円
補助金等償却費相当額【長期前受金戻入】	1億7,519万円
その他の収入【給水加入金ほか】	6,647万円
合計	23億4,642万円 A

(2) 収益的支出（税抜）

区分	決算額
きれいな水をつくるための費用【原水及び浄水費】	7億2,539万円
うち県水受水費【受水費】	5億2,461万円
家庭まで水を送る費用【配水及び給水費】	1億1,991万円
メーター検針や料金収納等営業等に係る費用【業務費、総務費】	1億9,771万円
借入金の利子返済【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億6,145万円
減価償却費等【減価償却費、資産減耗費、繰延動定償却】	10億5,802万円
その他の費用【受託給水工事費ほか】	3,008万円
合計	23億9,256万円 B

収益的収支差額（純損失）※ 4,614万円 ^C_(A-B)



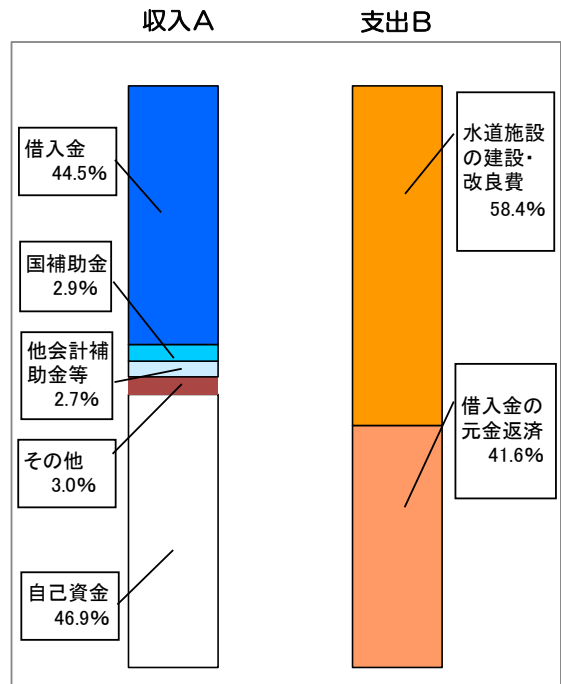
2. 資本的収支（税込）

(1) 資本的収入（税込）

区分	決算額
借入金【企業債】	6億2,760万円
国補助金【国庫支出金】	4,027万円
他会計からの補助金等【他会計出資金、補助金、負担金】	3,817万円
その他の収入【工事負担金、固定資産売却収入】	4,239万円
自己資金（内部留保資金※）	6億6,230万円
合計	14億1,073万円 A

(2) 資本的支出（税込）

区分	決算額
水道施設の建設・改良費【建設改良費、開発費】	8億2,374万円
借入金の元金返済【企業債償還金】	5億8,699万円
その他の費用【過年度補助金等返納金等】	0万円
合計	14億1,073万円 B



※1 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。

※2 収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【】内は、決算書の科目名を表しています。